

インド株式フォーカス（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第107期（決算日 2023年4月14日） 第109期（決算日 2023年6月14日） 第111期（決算日 2023年8月14日）
第108期（決算日 2023年5月15日） 第110期（決算日 2023年7月14日） 第112期（決算日 2023年9月14日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。
「インド株式フォーカス（毎月分配型）」は、2023年9月14日に第112期の決算を行ないましたので、第107期から第112期の運用状況をまとめてご報告申しあげます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2014年5月16日から2029年3月14日までです。
運用方針	主として、インド企業が発行する株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA」投資証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期から第3計算期までは収益分配を行ないません。第4計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

<642347>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	標準価額			債 組 入 比	券 率	投 資 組 入 比	託 信 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落					
83期(2021年4月14日)	円 8,080		円 60	△ 5.9	% —	% 96.6	% 96.6	百万円 986	
84期(2021年5月14日)	8,472		60	5.6	—	96.3	96.3	1,041	
85期(2021年6月14日)	9,045		60	7.5	—	96.5	96.5	1,120	
86期(2021年7月14日)	9,060		60	0.8	—	96.5	96.5	1,101	
87期(2021年8月16日)	9,408		60	4.5	—	96.6	96.6	1,123	
88期(2021年9月14日)	9,702		60	3.8	—	96.4	96.4	1,238	
89期(2021年10月14日)	10,115		60	4.9	—	96.5	96.5	1,324	
90期(2021年11月15日)	10,063		60	0.1	—	96.8	96.8	1,365	
91期(2021年12月14日)	9,380		60	△ 6.2	—	96.0	96.0	1,299	
92期(2022年1月14日)	9,954		60	6.8	—	96.2	96.2	1,369	
93期(2022年2月14日)	9,372		60	△ 5.2	—	96.5	96.5	1,292	
94期(2022年3月14日)	8,796		60	△ 5.5	—	96.9	96.9	1,218	
95期(2022年4月14日)	9,662		60	10.5	—	95.6	95.6	1,350	
96期(2022年5月16日)	8,756		60	△ 8.8	—	96.1	96.1	1,242	
97期(2022年6月14日)	8,966		60	3.1	—	96.4	96.4	1,297	
98期(2022年7月14日)	9,110		60	2.3	—	96.7	96.7	1,325	
99期(2022年8月15日)	9,653		60	6.6	—	96.6	96.6	1,393	
100期(2022年9月14日)	10,600		60	10.4	—	96.4	96.4	1,525	
101期(2022年10月14日)	9,937		60	△ 5.7	—	96.7	96.7	1,436	
102期(2022年11月14日)	9,950		60	0.7	—	96.7	96.7	1,465	
103期(2022年12月14日)	9,540		60	△ 3.5	—	96.4	96.4	1,426	
104期(2023年1月16日)	8,820		60	△ 6.9	—	96.6	96.6	1,381	
105期(2023年2月14日)	8,717		60	△ 0.5	—	96.4	96.4	1,407	
106期(2023年3月14日)	8,444		60	△ 2.4	—	96.0	96.0	1,404	
107期(2023年4月14日)	8,603		60	2.6	—	97.0	97.0	1,440	
108期(2023年5月15日)	8,753		60	2.4	—	96.1	96.1	1,485	
109期(2023年6月14日)	9,304		60	7.0	—	97.0	97.0	1,596	
110期(2023年7月14日)	9,577		60	3.6	—	96.0	96.0	1,669	
111期(2023年8月14日)	9,828		60	3.2	—	96.7	96.7	1,747	
112期(2023年9月14日)	10,244		60	4.8	—	96.3	96.3	1,830	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

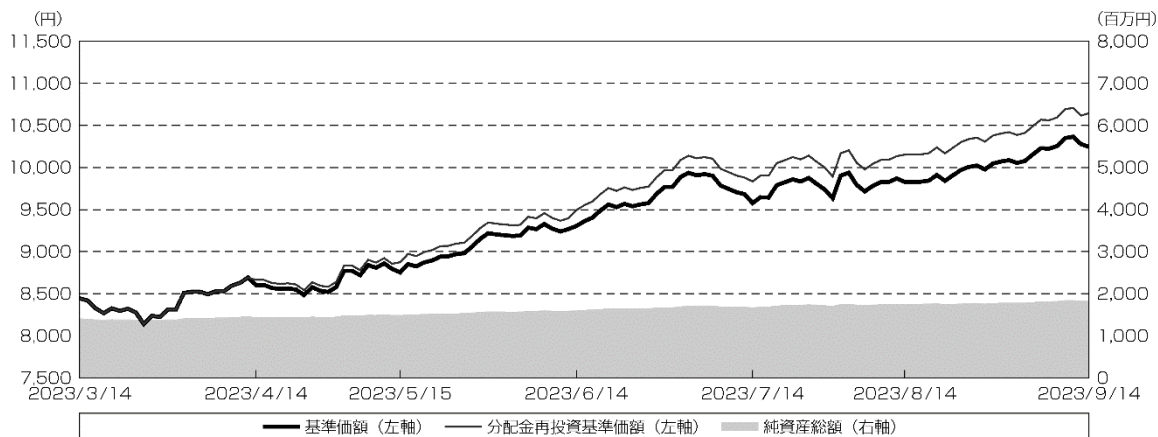
決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 証 組 入 比 率
			騰 落	率	
第107期	(期 首) 2023年 3 月14日	円 8,444		% —	% 96.0
	3 月末	8,311		△1.6	97.0
	(期 末) 2023年 4 月14日	8,663		2.6	97.0
第108期	(期 首) 2023年 4 月14日	8,603		—	97.0
	4 月末	8,578		△0.3	96.7
	(期 末) 2023年 5 月15日	8,813		2.4	96.1
第109期	(期 首) 2023年 5 月15日	8,753		—	96.1
	5 月末	9,204		5.2	97.0
	(期 末) 2023年 6 月14日	9,364		7.0	97.0
第110期	(期 首) 2023年 6 月14日	9,304		—	97.0
	6 月末	9,768		5.0	96.7
	(期 末) 2023年 7 月14日	9,637		3.6	96.0
第111期	(期 首) 2023年 7 月14日	9,577		—	96.0
	7 月末	9,634		0.6	96.7
	(期 末) 2023年 8 月14日	9,888		3.2	96.7
第112期	(期 首) 2023年 8 月14日	9,828		—	96.7
	8 月末	10,087		2.6	96.7
	(期 末) 2023年 9 月14日	10,304		4.8	96.3

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○運用経過

(2023年3月15日～2023年9月14日)

作成期間中の基準価額等の推移



第107期首： 8,444円
 第112期末： 10,244円（既払分配金（税込み）：360円）
 騰落率： 26.1%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2023年3月14日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、インドの企業が発行する株式を投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・金融セクターの投資比率を高めとしていたこと（インダスインド銀行、HDFC銀行、チャラマンダラム・インベストメント、マヒンドラ銀行など）。
- ・マヒンドラ・マヒンドラ、インディアン・ホテルズ、アショック・レイランドなど一般消費財・サービスセクターの投資比率を高めとしていたこと。
- ・アダニ・トタル・ガスとUPLの投資比率を低めとしていたこと。

＜値下がり要因＞

- ・ クロプトン・グリープスやバジャジ・ファイナンスなどボトムアップで選択した株式の投資比率を高めと
していたこと。

投資環境

（株式市況）

期間中のインド株式市場は、ボラティリティ（変動性）の高い展開となりました。しかし、国内の流動性の高まりやインフレ期待の鈍化、良好な企業収益を受けて市場は大幅に上昇しました。

2023年5月中旬にインド準備銀行（RBI、中央銀行）は2,000インドルピー紙幣の流通停止を発表しました。現在のところは法定通貨として引き続き使用可能であり、9月末までに現在の紙幣を銀行システムに預金するか、または他の紙幣と交換することができます。3月末時点では2,000インドルピー紙幣の流通量は流通総額の10.8%にとどまっていることから、当ファンドでは流通停止による経済への影響は非常に小規模なものになると予想しています。

RBIは、消費者物価指数（CPI）の予想を上方修正したものの、上昇の主因は野菜価格であり、一時的なものとなる見込みであることから、同中央銀行の金融政策委員会は予想通り政策金利を据え置きました。とはいえ、インフレの持続や定着の兆しが見られる場合には、今後利上げを実施する余地を残しました。

インドの2023年4-6月期国内総生産（GDP）成長率は、内需（個人消費や投資）やサービス（供給サイド）が好調となったことを受けて、市場予想通り1-3月期の前年同期比6.1%から同7.8%へと加速しました。しかし、輸入が予想以上に大きく拡大したことにより純輸出が-4.6%と大きく押し下げられ、不突合が+6.4%と拡大しました。経済成長の構成内容は後に修正される可能性があると考えられますが、経済成長は力強さを維持しています。

期間末の10年物の国債利回りは7.19%程度となり、インドルピーは期間中に対アメリカドルで83.2インドルピーまで下落しました。また、インドの外貨準備高は5,950億アメリカドルとなりました。

（国内短期金利市況）

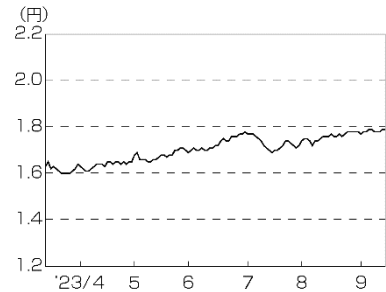
無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.03%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.01%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.23%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.14%近辺で期間末を迎えました。

（為替市況）

期間中における円／インドルピー相場は、右記の推移となりました。

円／インドルピーの推移



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドでは、収益性を追求するため、「Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA」投資証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

（Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA）

現在、当ファンドでは、民間の大手銀行を中心とした金融、一般消費財・サービス、不動産、病院を中心としたヘルスケアセクターの投資比率を高めとする一方、情報技術、素材、公益事業、および生活費需品セクターの投資比率を低めに維持しています。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
	2023年3月15日～ 2023年4月14日	2023年4月15日～ 2023年5月15日	2023年5月16日～ 2023年6月14日	2023年6月15日～ 2023年7月14日	2023年7月15日～ 2023年8月14日	2023年8月15日～ 2023年9月14日
当期分配金 (対基準価額比率)	60 0.693%	60 0.681%	60 0.641%	60 0.623%	60 0.607%	60 0.582%
当期の収益	19	38	20	19	60	60
当期の収益以外	40	21	39	40	—	—
翌期繰越分配対象額	3,791	3,770	3,730	3,689	3,715	4,122

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、原則として「Nikko Asset Management (Mauritius)Ltd クラスA」投資証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

（Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA）

インドのGDP成長率について、2023年7－9月期の初期段階のデータでは、前年同期比6.5%へと減速する見込みとなっています。減速の理由として考えられるのは、8月のモンスーンによる雨量が少なかったこと、食品インフレの高まり、政府による設備投資の鈍化の可能性、世界経済の成長鈍化などです。足元で経済の減速が見込まれているものの、インド経済の成長基調は維持されており、2023年のGDP成長率は6.5%にとどまると予想されています。

マクロ指標では、景気が過熱も冷え込みもしない適度な状況が引き続き示唆されています。コアインフレは幾分加速しているものの、緩やかな減速傾向を示しています。鉱工業生産の伸びが全般的に高まっていることは、外需が低迷するなかでも、低インフレや国内の設備投資の高まりによって産業活動が下支えされていることを示しています。インドの経済成長は、世界経済の成長鈍化や利上げの影響が遅れて出ることによりやや減速する可能性があります。こうしたなかでも底堅いと予想しています。経済成長の鈍化に加えてコアインフレの減速や政府による供給政策の積極化が見込まれることから、流動性の引き締めは引き続き政策手段であるものの、RBIが食品インフレの上昇に利上げで対応することはないと予想しています。当ファンドでは、政策金利は長期にわたり据え置かれ、2024年に利下げが実施されると予想しています。

より長期的な観点では、足元のボラティリティが高まっている局面では、インドのクオリティーの高い企業の銘柄を購入する好機と言えます。当ファンドでは、フリーキャッシュフローが潤沢で、負債比率が低く、資本利益率が高い企業に引き続き注目しています。足元では、民間の大手銀行を通じた金融セクター、自動車を通じた一般消費財・サービスセクター、コミュニケーション・サービスセクターの投資比率を高めとしています。また、バリュエーション（株価評価）を考慮して生活必需品セクターの投資比率を低めに維持しています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 3 月15日～2023年 9 月14日)

項 目	第107期～第112期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	51	0.553	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(9)	(0.094)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(41)	(0.442)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0.051	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	(4)	(0.048)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	56	0.604	
作成期間の平均基準価額は、9,263円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

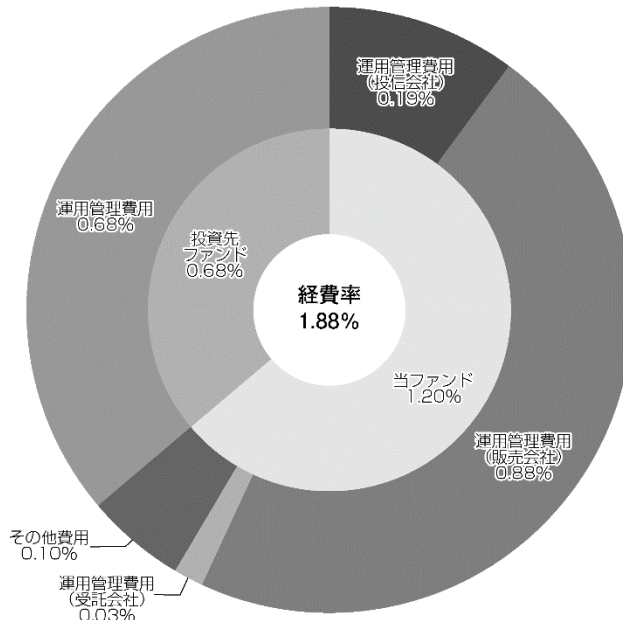
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬が発生する場合があります。

（参考情報）

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.88%です。



(単位：%)

経費率 (①+②)	1.88
①当ファンドの費用の比率	1.20
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.68

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年3月15日～2023年9月14日)

投資信託証券

銘 柄		第107期～第112期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA	千口 36,646	千円 95,992	千口 14,250	千円 38,625

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄		第107期～第112期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
	マネー・アカウント・マザーファンド	千口 282	千円 282	千口 4	千円 4

○利害関係人との取引状況等

(2023年3月15日～2023年9月14日)

利害関係人との取引状況

<インド株式フォーカス（毎月分配型）>

区 分	第107期～第112期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 95	百万円 95	% 100.0	百万円 38	百万円 38	% 100.0

<マネー・アカウント・マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2023年3月15日～2023年9月14日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2023年3月15日～2023年9月14日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

（2023年9月14日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	第106期末	第112期末		
		口数	口数	評価額
	千口	千口	千円	%
Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA	568,565	590,960	1,763,188	96.3
合計	568,565	590,960	1,763,188	96.3

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘柄	第106期末	第112期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド	1,454	1,731	1,735

（注）親投資信託の2023年9月14日現在の受益権総口数は、460,318千口です。

○投資信託財産の構成

（2023年9月14日現在）

項目	第112期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資証券	1,763,188	95.3
マネー・アカウント・マザーファンド	1,735	0.1
コール・ローン等、その他	84,981	4.6
投資信託財産総額	1,849,904	100.0

（注）比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第107期末	第108期末	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末
	2023年4月14日現在	2023年5月15日現在	2023年6月14日現在	2023年7月14日現在	2023年8月14日現在	2023年9月14日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,458,872,858	1,507,498,507	1,616,265,406	1,689,516,896	1,762,123,640	1,849,904,429
コール・ローン等	60,489,088	64,003,440	62,828,865	81,330,891	67,297,843	81,435,139
投資証券(評価額)	1,396,930,285	1,427,145,784	1,548,430,281	1,602,982,846	1,689,525,381	1,763,188,509
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	1,453,485	1,453,485	1,513,166	1,710,948	1,735,891	1,735,020
未収入金	—	11,447,753	—	—	—	—
未収配当金	—	3,448,045	3,493,094	3,492,211	3,564,525	3,545,761
(B) 負債	18,050,089	21,964,534	19,573,226	19,829,389	14,629,878	19,813,788
未払収益分配金	10,048,307	10,182,750	10,296,459	10,460,491	10,668,703	10,719,460
未払解約金	6,577,242	10,176,816	7,512,620	7,373,606	1,720,170	6,650,854
未払信託報酬	1,305,845	1,367,190	1,404,097	1,504,218	1,609,553	1,667,032
未払利息	3	24	131	37	117	11
その他未払費用	118,692	237,754	359,919	491,037	631,335	776,431
(C) 純資産総額(A-B)	1,440,822,769	1,485,533,973	1,596,692,180	1,669,687,507	1,747,493,762	1,830,090,641
元本	1,674,717,834	1,697,125,006	1,716,076,596	1,743,415,235	1,778,117,276	1,786,576,788
次期繰越損益金	△ 233,895,065	△ 211,591,033	△ 119,384,416	△ 73,727,728	△ 30,623,514	43,513,853
(D) 受益権総口数	1,674,717,834口	1,697,125,006口	1,716,076,596口	1,743,415,235口	1,778,117,276口	1,786,576,788口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,603円	8,753円	9,304円	9,577円	9,828円	10,244円

(注) 当ファンドの第107期首元本額は1,662,645,753円、第107～112期中追加設定元本額は381,843,833円、第107～112期中一部解約元本額は257,912,798円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第107期0.8603円、第108期0.8753円、第109期0.9304円、第110期0.9577円、第111期0.9828円、第112期1.0244円です。

○損益の状況

項 目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
	2023年3月15日～ 2023年4月14日	2023年4月15日～ 2023年5月15日	2023年5月16日～ 2023年6月14日	2023年6月15日～ 2023年7月14日	2023年7月15日～ 2023年8月14日	2023年8月15日～ 2023年9月14日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	3,345,842	6,855,103	3,490,819	3,489,605	3,560,743	3,542,544
受取配当金	3,346,137	6,856,877	3,493,094	3,492,211	3,564,525	3,545,761
受取利息	19	—	—	—	—	17
支払利息	△ 314	△ 1,774	△ 2,275	△ 2,606	△ 3,782	△ 3,234
(B) 有価証券売買損益	34,838,937	30,013,256	101,002,158	52,446,058	52,394,874	81,672,970
売買益	34,973,848	30,206,062	102,379,836	54,840,160	52,743,584	82,668,308
売買損	△ 134,911	△ 192,806	△ 1,377,678	△ 2,394,102	△ 348,710	△ 995,338
(C) 信託報酬等	△ 1,424,537	△ 1,491,475	△ 1,531,722	△ 1,640,944	△ 1,755,857	△ 1,818,557
(D) 当期損益金(A+B+C)	36,760,242	35,376,884	102,961,255	54,294,719	54,199,760	83,396,957
(E) 前期繰越損益金	△ 46,934,427	△ 19,895,381	5,184,708	94,219,211	136,537,946	174,065,105
(F) 追加信託差損益金	△213,672,573	△216,889,786	△217,233,920	△211,781,167	△210,692,517	△203,228,749
(配当等相当額)	(425,167,108)	(437,101,612)	(448,609,507)	(465,912,098)	(480,662,042)	(489,809,521)
(売買損益相当額)	(△638,839,681)	(△653,991,398)	(△665,843,427)	(△677,693,265)	(△691,354,559)	(△693,038,270)
(G) 計(D+E+F)	△223,846,758	△201,408,283	△109,087,957	△ 63,267,237	△ 19,954,811	54,233,313
(H) 収益分配金	△ 10,048,307	△ 10,182,750	△ 10,296,459	△ 10,460,491	△ 10,668,703	△ 10,719,460
次期繰越損益金(G+H)	△233,895,065	△211,591,033	△119,384,416	△ 73,727,728	△ 30,623,514	43,513,853
追加信託差損益金	△213,672,573	△216,889,786	△217,233,920	△211,781,167	△210,692,517	△203,228,749
(配当等相当額)	(425,167,108)	(437,101,612)	(448,609,507)	(465,912,098)	(480,662,042)	(489,809,521)
(売買損益相当額)	(△638,839,681)	(△653,991,398)	(△665,843,427)	(△677,693,265)	(△691,354,559)	(△693,038,270)
分配準備積立金	209,723,636	202,726,261	191,506,152	177,327,786	180,069,003	246,742,602
繰越損益金	△229,946,128	△197,427,508	△ 93,656,648	△ 39,274,347	—	—

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2023年3月15日～2023年9月14日)は以下の通りです。

項 目	2023年3月15日～ 2023年4月14日	2023年4月15日～ 2023年5月15日	2023年5月16日～ 2023年6月14日	2023年6月15日～ 2023年7月14日	2023年7月15日～ 2023年8月14日	2023年8月15日～ 2023年9月14日
a. 配当等収益(経費控除後)	3,221,050円	6,577,793円	3,439,601円	3,387,148円	3,448,978円	3,466,817円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	11,907,573円	79,930,140円
c. 信託約款に定める収益調整金	425,167,108円	437,101,612円	448,609,507円	465,912,098円	480,662,042円	489,809,521円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	216,550,893円	206,331,218円	198,363,010円	184,401,129円	175,381,155円	174,065,105円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	644,939,051円	650,010,623円	650,412,118円	653,700,375円	671,399,748円	747,271,583円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	3,851円	3,830円	3,790円	3,749円	3,775円	4,182円
g. 分配金	10,048,307円	10,182,750円	10,296,459円	10,460,491円	10,668,703円	10,719,460円
h. 分配金(1万円当たり)	60円	60円	60円	60円	60円	60円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
1 万口当たり分配金（税込み）	60円	60円	60円	60円	60円	60円

○お知らせ

約款変更について

2023年3月15日から2023年9月14日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、弊社では、純資産を増加させることが今後の安定したファンド運営において必要な方策と考えており、それが結果として受益者の利益に資するとの考えから、2023年6月15日付けにて以下の約款変更を行ないました。
 - ①純資産の増加を目指すべく、信託期間を5年更新して信託終了日を2029年3月14日とするよう、信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第4条）
 - ②より一層の販路拡大を目指すべく、今後、販売会社が独自に購入時手数料を定めることができるよう、信託約款の一部に所要の変更を行ないました。また、上述の購入時手数料にかかる変更にあわせて、信託の名称を「インド株式フォーカス（毎月分配型）」に変更いたしました。（第12条、信託の名称）

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラス A	
	モーリシャス籍円建外国投資法人	
運用の基本方針		
基本方針	主として、インド企業の株式に分散投資することにより長期的な信託財産の成長を目標に運用を行ない、インドの高度成長を享受することをめざします。	
主な投資対象	<ul style="list-style-type: none"> ・インド企業の発行するインド・ルピー建株式 ・インド企業の発行する当該株式を裏付けとした預託証券（DR） ・インド・ルピー建あるいは米ドル建の流動性の高い短期金融資産 	
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、ムンバイの金融商品取引所に上場しているインド企業のインド・ルピー建株式を投資対象とし、分散投資することにより長期的な信託財産の成長を目標に運用を行ない、インドの高度成長を享受することをめざします。 ・純資産総額の 80%以上をインド・ルピー建株式および当該株式を裏付け資産とした預託証券（DR）に投資します。 ・リスクヘッジのため派生商品、主に先物取引に投資する可能性があります。主な投資対象ではありません。 ・外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行いません。 ・ただし、市況動向や資金動向その他の要因によっては、上記のような運用ができない場合があります。 	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 銘柄の組入れは、原則として純資産総額の 25%を限度として投資します。 ・ 投資信託証券への投資は、純資産総額の 5%を上限とします。 ・ 借入残高の合計金額が、純資産総額の 10%未満の範囲で借入れを行なう場合があります。 	
収益分配	原則として、毎月分配を行いません。なお、運用会社の判断により収益分配を行わないことがあります。	
ファンドに係る費用		
信託報酬など	純資産総額に対し年率 0.7%（国内における消費税等相当額はかかりません。）	
申込手数料	ありません。	
信託財産留保額	解約時の基準価額に対し 0.5%（1口当たり）	
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。	
その他		
運用会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド	
信託期間	無期限	
決算日	原則として、毎年 3 月 31 日	

Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd

包括利益計算書

2022年3月31日までの1年間

単位：日本円

収益

受取配当金	25,218,801
損益を通じて公正価値評価される金融資産の公正価値のその他の純変動額 為替差益	854,475,125 21,478,962

純収益合計

901,172,888

費用

投資運用報酬	21,725,864
取引費用	27,670,255
管理報酬	9,263,495
税金費用	3,930,556
監査報酬	2,412,828
保管費用	2,125,180
取締役報酬	898,841
銀行手数料	897,256
ライセンス料	477,411
専門家報酬	966,602
現金保管手数料	224,726

費用合計

70,593,014

運用利益

830,579,874

金融費用

クラスA投資主に対する分配金	(93,884,130)
----------------	--------------

税引前利益

736,695,744

税合計

(89,213,792)

運用によるクラスA投資主に帰属する純資産の増加

647,481,952

Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd
 財政状態計算書
 2022年3月31日現在

単位：日本円

資産

流動資産

損益を通じて公正価値評価される金融資産	2,866,181,169
受取債権	29,527,854
現金および現金同等物	287,226,343

資産合計

3,182,935,366

資本

投資主資本 — 出資者持分	11,619
---------------	--------

資本合計

11,619

負債

流動負債

キャピタル・ゲイン税金負債	44,824,968
支払債務	41,142,762
負債（クラスA投資主に帰属する純資産を除く）	85,967,730

クラスA投資主に帰属する純資産	3,096,956,017
-----------------	---------------

負債および資本合計	3,182,935,366
-----------	---------------

クラスA投資証券の発行済残高	1,235,731,326
----------------	---------------

クラスA投資証券1口当たり純資産価額	2.5062
--------------------	--------

Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd
 クラスA投資主に帰属する純資産変動計算書
 2022年3月31日までの1年間

	口数	単位：日本円
期首現在のクラスA投資主に帰属する純資産	1,406,616,826	2,866,317,100
クラスA投資証券の発行による受取代金	143,252,298	333,398,751
クラスA投資証券の買戻による支払代金	(353,769,817)	(844,125,916)
分配金自動再投資の受取代金	39,632,019	93,884,130
証券取引による純減少	(170,885,500)	(416,843,035)
運用によるクラスA投資主に帰属する純資産の増加	—	647,481,952
包括利益合計	—	647,481,952
期末現在のクラスA投資主に帰属する純資産	1,235,731,326	3,096,956,017

資本は出資者持分のみで構成されている。出資者持分は変更がないことから、取締役会の意見では資本変動に関する十分な情報は記載されており、したがって、2022年については資本変動計算書を作成していない。

損益を通じて公正価値評価される金融資産の一覧表

2022年3月31日現在

保有株数	銘柄	市場価格	純資産に対する割合 (%)
<i>エンジニアリング/情報技術</i>			
7,300	TATA Consultancy Services Ltd	43,888,880	1.42
28,900	Tech Mahindra Ltd	69,661,957	2.25
7,300	L&T Infotech Ltd	72,234,552	2.33
4,600	ABB India Ltd	15,957,507	0.52
		<u>201,742,896</u>	<u>6.52</u>
<i>銀行</i>			
28,000	Axis Bank	34,260,534	1.11
55,000	HDFC Bank	130,001,767	4.20
9,100	Housing Development Finance Corp	34,968,565	1.13
172,000	ICICI Bank	201,927,556	6.52
12,700	Kotak Mahindra Bank Ltd	35,806,511	1.16
41,500	Indusind Bank Limited	62,403,838	2.02
91,000	State Bank of India	72,200,198	2.33
172,000	Bank of Baroda	30,857,340	1.00
416,000	Federal Bank Ltd	65,135,557	2.10
		<u>667,561,866</u>	<u>21.57</u>
<i>電子機器</i>			
73,000	Infosys Technology	223,771,736	7.23
18,550	Mphasis BFL Limited	100,698,157	3.25
39,700	Zensar Technologies	23,418,725	0.76
		<u>347,888,618</u>	<u>11.24</u>
<i>医薬品</i>			
6,850	DIVIS Laboratories	48,474,282	1.57
118,000	Sun Pharmaceuticals Inds Ltd	173,520,290	5.60
5,500	Gland Pharma Limited	28,935,307	0.93
		<u>250,929,879</u>	<u>8.10</u>

保有株数	銘柄	市場価格	純資産に対する 割合 (%)
	多角化企業		
64,000	Reliance Industries Ltd	271,072,354	8.75
	インフラストラクチャー		
5,860	Maruti Suzuki India Ltd	71,229,505	2.30
190,000	Mahindra & Mahindra Ltd	48,610,052	1.57
28,000	TVS Motor Co Ltd	28,161,470	0.91
10,000	Bajaj Auto Ltd	58,723,984	1.90
68,500	Prestige Estates Projects Ltd	54,376,030	1.76
		261,101,041	8.44
	エネルギー		
145,000	Crompton Greaves Consumer Electricals Ltd	87,177,708	2.81
		87,177,708	2.81
	金融		
14,500	SBI Life Insurance Limited	26,140,492	0.84
1,990	Bajaj Finserv Ltd.	23,224,830	0.75
55,000	CreditAccess Grameen	75,126,672	2.43
		124,491,994	4.02

保有株数	銘柄	市場価格	純資産に対する 割合 (%)
	<i>その他</i>		
6,850	Asian Paints Ltd	33,915,645	1.10
10,900	Piramal Enterprises Ltd	38,319,626	1.24
46,800	Hindalco Industries Limited	42,845,520	1.38
2,800	Ultratech Cement Ltd	29,717,969	0.96
23,500	Cholamandalam Investment	27,141,275	0.88
32,500	Phoenix Mills Limited	57,467,479	1.86
28,000	Tata Consumer Products	34,991,971	1.13
10,000	Voltas Limited	20,020,490	0.65
118,000	Zee Entertainment Enterprises Ltd	54,697,541	1.77
127,000	Bharti Airtel Limited	154,130,203	4.98
154,000	Indian Hotels Co Limited	59,043,888	1.91
82,000	Balrampur Chini Mills Ltd.	64,512,468	2.08
5,500	Titan Company	22,423,503	0.72
10,000	Minda Industries Ltd.	14,987,235	0.48
		<u>654,214,813</u>	<u>21.14</u>
	損益を通じて公正価値評価される金融資産合計	<u>2,866,181,169</u>	<u>92.59</u>

マネー・アカウント・マザーファンド

運用報告書

第13期（決算日 2022年10月12日）
（2021年10月13日～2022年10月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行ないます。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
9期(2018年10月12日)	円		%	%	百万円
	10,032		△0.1	—	595
10期(2019年10月15日)	10,028		△0.0	—	586
11期(2020年10月12日)	10,025		△0.0	—	888
12期(2021年10月12日)	10,023		△0.0	—	1,125
13期(2022年10月12日)	10,022		△0.0	—	560

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首) 2021年10月12日	円		%
	10,023		—
10月末	10,023		0.0
11月末	10,023		0.0
12月末	10,023		0.0
2022年1月末	10,023		0.0
2月末	10,023		0.0
3月末	10,023		0.0
4月末	10,023		0.0
5月末	10,023		0.0
6月末	10,022		△0.0
7月末	10,022		△0.0
8月末	10,022		△0.0
9月末	10,022		△0.0
(期 末) 2022年10月12日	10,022		△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2021年10月13日～2022年10月12日)

基準価額の推移

期間の初め10,023円の基準価額は、期間末に10,022円となり、騰落率は△0.0%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.03%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.03%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.11%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.16%近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

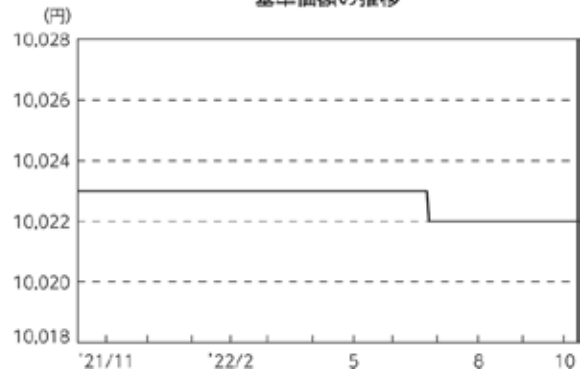
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2021/10/12	2021/10/13	2022/06/27	2022/10/12
10,023円	10,023円	10,022円	10,022円

○1万口当たりの費用明細

(2021年10月13日～2022年10月12日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2021年10月13日～2022年10月12日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2021年10月13日～2022年10月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年10月13日～2022年10月12日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2022年10月12日現在)

2022年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2022年10月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 561,034	% 100.0
投資信託財産総額	561,034	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年10月12日現在)

項	目	当	期	末
				円
(A) 資産				561,034,411
	コール・ローン等			561,034,411
(B) 負債				403,742
	未払解約金			403,445
	未払利息			297
(C) 純資産総額(A-B)				560,630,669
	元本			559,411,728
	次期繰越損益金			1,218,941
(D) 受益権総口数				559,411,728口
	1万口当たり基準価額(C/D)			10,022円

(注) 当ファンドの期首元本額は1,123,207,498円、期中追加設定元本額は39,043,309円、期中一部解約元本額は602,839,079円です。

(注) 2022年10月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル・プロスペクティブ・ファンド	329,794,812円	・エマージング・プラス・円戦略コース	784,570円
・中華圏株式ファンド(毎月分配型)	94,654,066円	・欧州社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	531,007円
・グローバルC o C o債ファンド 円ヘッジコース	18,512,403円	・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジあり	523,559円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネーボールファンド)	15,273,943円	・ノーロード・シンガポール高配当株式フォーカス(毎月分配型)	376,786円
・アジア社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	11,470,095円	・グローバルC o C o債ファンド 新興国高金利通貨コース	305,120円
・エマージング・プラス(マネーボールファンド)	9,945,260円	・世界標準債券ファンド(1年決算型)	300,797円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース>(毎月分配型)	9,503,745円	・グローバル株式トップフォーカス	298,485円
・インデックスファンドMLP(毎月分配型)	7,465,062円	・欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	233,387円
・グローバルC o C o債ファンド ヘッジなしコース	7,032,101円	・グローバルC o C o債ファンド 先進国高金利通貨コース	221,561円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	6,997,802円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース>(毎月分配型)	140,987円
・世界標準債券ファンド	6,483,635円	・上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCIエマージング)	99,902円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース	6,279,477円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジあり)	50,629円
・ビッグデータ新興国小型株ファンド(1年決算型)	4,614,417円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジなし)	22,285円
・アジアリートファンド(毎月分配型)	3,338,518円	・上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなし	3,163,709円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)	19,983円
・アジア社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	3,145,270円	・上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	3,086,959円	・DC世界株式・厳選投資ファンド	10,683円
・グローバル・ダイナミックヘッジα	2,616,462円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>(毎月分配型)	2,536,890円	・上場インデックスファンドフランス国債(為替ヘッジなし)	9,979円
・グリーン世銀債ファンド	1,624,339円	・上場インデックスファンドフランス国債(為替ヘッジあり)	9,979円
・アジアREITオープン(毎月分配型)	1,579,920円	・上場インデックスファンド豪州国債(為替ヘッジあり)	9,978円
・ノーロード・インド株式フォーカス(毎月分配型)	1,393,009円	・上場インデックスファンド豪州国債(為替ヘッジなし)	9,978円
・SMB C・日興 世銀債ファンド	1,350,193円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500) 為替ヘッジあり	9,967円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース>(毎月分配型)	1,248,385円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジなし)	9,958円
・インデックスファンドMLP(1年決算型)	1,245,765円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジあり)	9,958円
・日興マネー・アカウント・ファンド	1,015,998円		

(注) 1口当たり純資産額は1.0022円です。

○損益の状況

(2021年10月13日～2022年10月12日)

項	目	当	期
(A)	配当等収益		円
	受取利息	△	117,744
	支払利息		349
(B)	当期損益金(A)	△	118,093
(C)	前期繰越損益金		△ 117,744
(D)	追加信託差損益金		2,632,057
(E)	解約差損益金		88,766
(F)	計(B+C+D+E)	△	1,384,138
	次期繰越損益金(F)		1,218,941
			1,218,941

(注) 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2021年10月13日から2022年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。